



2015~16年度 D-2700 No. 1 2015年 7月 3日

小倉ロータリークラブ 週報

世界へのプレゼントになろう

R I テーマ：“世界へのプレゼントになろう”

R I 会長：K.R.”ラビ”ラビンドラン氏
(所属：COLOMBO RC)

地区テーマ：“考え方ロータリーの多様性と クラブの主体性を”

地区ガバナー：本田 正寛 氏 (所属：福岡 RC)

クラブテーマ：“与えよう、ロータリアンとしての ステータスを自覚して”

会長 鮎見 進一 / 幹事 森 浩明



表紙写真説明(テーマ/平尾台の四季)

今年度クラブ会報委員長の長森です。表紙の写真は、山中会員よりいただいた小倉南区にあるカルスト台地平尾台の写真のうちの1枚です。ちなみにこの写真は、私どもの病院の診察室の前に飾っております。会員の皆様、これから1年間よろしくお願ひ致します。

【撮影：山中会員 小倉南】

例会場 リーガロイヤルホテル小倉 TEL 093 (531) 1121

《報告に関して、敬称略》

例会日 毎週金曜日 12:30~13:30

事務局 e-MAIL : krpc@rid27.jp

事務局 北九州市小倉北区浅野2-14-2 リーガロイヤルホテル小倉 2F TEL (531) 1727 FAX (522) 4333

会報・雑誌 委員会 委員長：長森 健 副委員長：外堀 隆博

委 員：難波 幸雄・三角 勝信・玉井 行人・田中 信也・佐久間 康和・中島 裕幸



四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



本日の例会第3224回

- ・国歌斉唱
- ・ロータリーソング “奉仕の理想”
- ・卓話 影山 英雄 氏
株式会社 井筒屋 代表取締役社長

会計士になった当時の日本では、まだ公認会計士という職業は、一般の人にとってあまり馴染みがなかったように記憶しています。公認会計士の登録時にいただいた私の会員番号が4595番ですので、その当時は、全国で公認会計士の数を数えても5千人にも満たなかったわけですから、当然かもしれません。

昔から、ミステリー小説が好きで、創元推理文庫や早川ミステリーなど海外の推理小説の翻訳ものなどをよく読んでいました。イギリスやアメリカの社会では、弁護士と同じように公認会計士も社会的に活躍しており、また、その人数も多く、小説の中でも登場人物として出てくる場合がありましたが、“公認会計士”と翻訳されることには殆んどなく、“計理士”、たまに“税理士”と訳されていることが多いですが、いつもそれを見たは歯がゆい思いをしていました。

私より年配の方は、“計理士”という名前の職業をご存知かと思いますが、若い方々はご存じないかもしれませんので、簡単に説明させていただきます。“計理士”という職業は、昭和2年に施行された計理士法に基づく資格で、会計に関する検査・調査・鑑定、決算報告

第3223回 例会 記録

6月 19日 (金) 普通例会

- ・ロータリーソング “それでこそロータリー”
- ・新旧役員挨拶

会長の時間

小島 康匡 会長

公認会計士になってから、今年ではや44年（会計士補時代の3年を入れると47年）になります。私が公認

書の作成や証明、会計事務の代行などを業としていました。その資格も計理士試験合格者のほかに、専門学校以上で会計学を修めた者にも資格が与えられましたので、その数も多かったようです（昭和23年現在：累計25,698名）。このように、“計理士”は、いわば日本における職業会計人の草分けともいえるものでした。

昭和23年に証券取引法の制定に伴い公認会計士制度が発足し、同制度に吸収されるような形で、それまであった計理士制度が廃止されてしまいました。しかしながら、“計理士”としての資格は、生涯（一代限り）付与されることになりましたので、その後も“計理士”的な名前で仕事を続けられていました。世間では、公認会計士の名よりも“計理士”的な名の方が広く行き渡っていたのだと思います。

ところで、公認会計士・監査法人の名の方ですが、試験合格者の数が増えて世間には一向に広まりませんでした。それが企業の間で少しほとんど認知されるようになったのは、昭和49年に商法の大改正があり、公認会計士の会計監査の対象が、従来、証取法監査だけであったのが、商法監査（会社法監査）にまで広げられたため、会計監査を受ける会社が大幅に増加したことが影響していると思われます。

それ以降、徐々に知られるようになって来てはいましたが、飛躍的に一般の方にも広く認知されるようになったのは、平成20年6月から放映されたNHK土曜ドラマ『監査法人』（連続6回）の影響が大きかったようと思われます。題名もそのままぱり『監査法人』でしたので、インパクトが強かったようですね。今まであまり公認会計士のことを知らなかつた義理の姉からも、わざわざ“『監査法人』見てるよ”と電話をもらつことを覚えていました。NHKの全国放送はやはりすごいですね。そのお蔭もあって、最近は、テレビや映画に公認会計士が出てきても何も思わなくなりましたが、つい最近見たテレビドラマで、少しひっくりしたことがありました。

それは、ウエディングドレスを着た女性が東京と金沢で続けて殺されるというサスペンスドラマでしたが、殺された女性の頭に、ふたりとも加賀繡（ぬ）い（加賀百万石の伝統工芸）のかんざしを着けており、そのかんざしには市松模様のデザインが入っていました。私が何時も背広の襟に着けているバッヂは日本公認会計士協会の会員章で、会員章の図柄も今まで意識したことはありませんでしたが、言われてみれば確かに市松模様であり、この模様が糸口となって、この事件に公認会計士が絡んでいるということで、事件解決に結びついたようです。公認会計士の会員章の模様まで調べてあげてドラマを作るのかと、正直驚かされるとともに、そこまでやるかとも思いました。昔のことを思います

と、隔世の感がします。

「会長の時間」も今回が最後になりましたが、公認会計士のPRみたいになってしまって申し訳ありません。毎回毎回、つたない話を辛抱して聞いていただいたことを深く感謝して、終わりとさせていただきます。ありがとうございました。

幹事報告

角南 幹事

・本日が、今年度最後の例会です。来週はお休みですのでお気を付け下さい。

出席報告

横山 副委員長

2014年7月1日：59名でスタート

会員数	本日出席者数	出席率	前々回修正出席率
64名	42名	72.41%	93.22%

◆ゲスト 1名

・ジットヴィリヤ、ウィサヌ 氏（米山奨学生）

◆ビジター 2名

・奥村 勝美 氏（小倉南）

・具嶋 光弘 氏（辰巳和正法律事務所 司法修習生）

委員会報告

青少年奉仕委員会

八尋委員長

明日は今年度最後の早朝清掃です。最後に出て来られると、一年間やつたような気になりますので、よろしくお願ひいたします。

ニコニコ献金

東 副SAA

28,000円：累計金額 712,274円

小島 康匡 君

1年間、ありがとうございました。

原田 光久 君

6月6日（日）のサンパウロ国際大会には当地区から24人揃って出席、その夜の地区ガバナーナイトには、大島ペストガバナー夫妻も参加され、グーリー 黄（ホワン）RI会長一行のご来訪もありました。

9日（火）から3日間のアルゼンチンのメンドーサから地上移動のチリ訪問は12人。予定通り無事帰着しましたが、楽しく、疲れた旅でした。

木曾 長 君

第3回中国料理を楽しむ同好会を6月24日18時30分から2Fの龍鳳にて行います。参加ご希望の方はご一報ください。

荒木 英生 君

角南幹事、一年間お疲れ様でした。今晚は思いつきりはじけて下さい。あわせて、個人的に大変お世話になりました。

辰巳 和正 君

6月18日に開催されました㈱安川電機の第99回株主総会で、社外取締役に選任されました。100年を迎えた安川電機の更なる発展のために尽力します。

合馬 誠一 君

先日のCテーブル会合、皆さんで歓談・笑いの中、楽しいひと時でした。幹事の岩辺さん、松永さんお疲れ様でした。私も新会員として少しお騒がせしましたが、1年間楽しく充実して過ごさせて頂きました。小島会長、皆さんありがとうございました。次年度もよろしくお願いします。ニコニコします。

新旧役員の挨拶

小島 駿二 本年度会長



昨年、会長に就任しました時に、比較的、自分で日程を決めることができる立場でありましたので、これから的一年間は、とにかくすべて“ロータリー優先”で行こうと決め、スタートしました。日程を決める際には、当然、他の

仕事と調整しながら組んでいきましたが、それでも他の行事などと重なることが何度かありました。そういう場合は、先方に対して“すみません。今、RCの会長をしておりますので、今回はそちらを優先させていただきます。”と断って、了解していただくようにしました。しかし、最近になると先方もその辺の事情のことを良く理解され、顔を合わせますと、“最近、RCの方はどうですか?”とか“会長の任期ももう少しちゃね”とか言っていただくことが多くなり、大変、有難かったです。

この一年間、クラブの運営につきましては、角南幹事、松永SAAはじめ理事及び役員の方々、また、各委員会の委員長及び委員の方々に助けていただいたお蔭で、十分ではなかったかと思いますが、何とか会長としての職務を最後まで務めることができました。この場を借りまして、改めて厚くお礼申し上げます。

また、事務局の飯塚さん達も、まだ小倉RCに来られて日も浅く、仕事も慣れない業務ばかりで苦労されたと思いますが、何時も気持ちよくやっていただいたことに感謝しています。

この一年間、会長を経験させていただいたことで、

RCのことをより一層知ることができ、かつ理解できるようになったと実感しております。また、RCの様々な場に会長として参加するたびに、我が小倉RCが北九州における“伝統”と“格式”のあるクラブであることを感じました。それだけに、クラブの代表として恥じることがないよう、常に意識しながら職務をこなすことを心がけました。

しかしながら、いくら小倉RCが“伝統”や“格式”があると言っても、進歩しないままでいますと、ただ古いだけのクラブになってしまいます。ニーチェの言葉に、“脱皮しない蛇は死ぬ”という言葉がありますが、小倉RCが今後も継続的に維持・発展していくためには、クラブが持っている良いところをしっかりと守りながら、時代の変化に合わせてさらに脱皮していく必要があるのではないかでしょうか。

それからもう一つ、小倉RCの今後の課題は、クラブの財政基盤のより一層の強化です。今月5日の例会で配布されました「ロータリーの友」6月号に掲載されていましたのでご存知かと思いますが、福岡RCでは『公益財団法人福岡ロータリークラブ奨学会』を持っています。この奨学会は、1963年に創立30周年記念事業として設立されたもので、国家に有用な若者の育成のために使われているようです。2013年には財団法人から公益財団法人に移行しています。その規模等は詳しくは知りませんが、以前、福岡RCは1億円ぐらいの資金を保有しているということを聞いたことがあり、大変うらやましく感じたことを覚えています。

小倉RCも、以前は、奨学金制度はありましたが、福岡RCのように財団法人化はしておらず、そして今は奨学金制度もなくなっています。福岡RCは歴史も長く、また、会員数も違いますので、何も福岡RCに追随する必要はありませんが、小倉RCの奉仕活動に見合ったぐらいの基金を蓄えることができればいいなと思っています。そのためにも、クラブの財政基盤を強化して、計画的に基金を整えていくことを願っております。

最後になりますが、鰐見会長を初めとする次年度も間もなくスタートします。引き続き、当年度に劣らないご支援をお願い致します。

角南 駿徳 本年度幹事



2年前に副幹事に就任した際の挨拶を、週報にて見返してみたら、「自分に、このような大役が務まるか疑問もあるが、『地位が人を作る』と信じて、この2年、微力を尽くしたい」と述べておきました。その時の挨拶の自分の写真と、

2年後の今の自分を見比べた時、明らかに髪が後退しています。今は、「地位は、人を作るのではなく、地位は容貌を変えるのだ」ということを実感した次第です。それほどまでに、大きな変化があった2年間でした。今は、無事に務めあげることができて、本当にホッとしています。

一番心配だったのは、初めて幹事を担当する自分と、初めて事務局を担当する飯塚さんの組み合わせで、失敗をしないか、という点でした。それまでの経験豊かな前事務局の方が居らず、自分が考えねばならなくなったりましたし、責任者として判断せざるをえなくなりました。当たり前ですが、プレッシャーは感じたものです。幸い飯塚さんは、RCに対する理解も深く、無事に1年間の予定をこなすことができました。飯塚さんも1年間を完全に経験しましたので、以後の幹事さんとの協同体制も、今年以上にスムースに進められると思います。

自分としては、機構や財務を含めて、立て直しの年度の出発点である、と思っていましたので、自然、守りの年度になると思っていました。しかし（先週・先々週のクラブ協議会を見て、判りましたが・・）皆様のご協力で、例年と変わらない、いや例年以上のイベントや活動ができました。各人のご協力を挙げていけばきりがありません。本当に皆様に感謝いたします。

後任の幹事や皆様への要望事項は、財政改革の途中ですが、できるだけ早くクラブの財務体勢を盤石なもの戻し、以前のように、お金をかけるところにはしっかりとかけ、皆がより楽しめるクラブに戻していただきたいと思います。転勤族が多いクラブですが、転勤族の方にも、できる限り積極的に委員長やSAA等に就任していただければと思います。

最後に、次年度の鰐見会長・森幹事に対しても、今年度以上の多大なご支援をお願い申し上げます。

松永 浩 本年度SAA・次年度副幹事



例会進行上、司会がいつも噛んでしまい、お聞き苦しい進行になったことをこの場を持ちましてお詫び申し上げます。

昨年度の今頃、私の今年度の役目は副SAAでしたが、SAA予定者だった井上会員の転勤により急遽SAAという重責を拝命しました。小倉RC入会2年目の為、大事な役目を全うできるか悩みましたが、司会進行マニュアルを作成したりして出来る限りの事は出来たと思います。

しかし、SAA（会場監督）は司会進行だけではなく、

例会会場全体の監督です。例会に参加された方が有意義な時間だったか、新会員のフォローが出来たか、思い返せばできなかった面もたくさんあったかと思います。今後はこの経験を次年度SAAに十分に引き継いでいきたいと思います。

次年度は副幹事ですので、今年度の経験を活かしオブザーバーとして理事会に毎回参加し、森次年度幹事にご指導いただきながら、次々年度の幹事としての役割を全うできるよう準備していきます。又、副幹事として幹事のバックアップを行ってまいります。

鰐見 進一 次年度会長(角南幹事代読)

7月より名譽と伝統のある小倉RCの会長を務めさせていただきます。引き受けました限りは、務めて例会や行事に出席することを心掛けます。しかしながら、私が主催する学会等と重なった際には欠席せざるを得ない場合があります。副会長の伊与田先生には誠に申し訳ありませんが、何卒よろしくお願ひいたします。

次期の小倉RCのテーマは、「与えよう。ロータリアンとしてのステータスを自覚して」とさせていただきました。「与えよう」はRI会長が示している「地位や身の上に拘わらず、才能、知識、能力、努力、献身、熱意など、誰でも与えることのできる何かを持つている」という文言から抽出しました。ただ闇雲に与えても満足行くアウトカムが得られるかどうかはわかりません。「与える」ことに際しては、各自がロータリアンとしてのステータスを自覚し、毅然とした態度でいわゆる「奉仕」に臨んで戴きたい、という思いでこのテーマとしました。

これから1年間、微力ではありますが、皆様のご協力の下に、できる限り努力させていただきますので、何卒よろしくお願ひ致します。

伊与田 修 次年度副会長



次年度副会長を拝命しました伊与田です。まだ副会長の立場なので、それ程緊張している訳ではありませんが、1年後はそれどころではないでしょうし、1年は長いようで、あつという間に過ぎていきそうです。

RCに入会してから、約15年が経ちましたがまだまだ知らない事の方が多く、これからは真面目に勉強しなければなりません。さらに、次々年度の事も考えなければならず、決して十分な時間がある訳ではありません。今年1年は鰐見会長を支えて、仕事に励んでいく所存です。

会員の皆様には、これから色々な御願いをすること

になりますが、どうか「ノー」とは言わず、快く「はい」と御返事頂けます様、宜しくお願ひ申し上げます。

森 浩明 次年度幹事



この7月から1年間、鱈見会長のもと、幹事の役を務めることになりました。1年間の幹事役を山登りに例えた方もいらっしゃいましたが、私は航海に例えたいと思っています。予定者としての準備期間、これから1年間の航海に

必要な食材や燃料を積み込みました。また、同じ船には、航海歴40年を超えるベテランの皆様から、全国各地で鍛えられて当地に赴任されてきた皆様まで、心強い方々に乗船していただいています。静かな日も、もしかしたら、嵐の日もあるかと思いますが、暴風雨を切り抜けた後には、必ずキラキラ輝く美しい海があり、まだ見ぬワクワクする土地にたどりつくことを信じて、役割を果たしてまいりたいと思います。ロータリー歴も短く、若輩者ですので、至らない点も多いかと思います。会員の皆様のご指導・ご協力を切にお願い申し上げ、次年度幹事挨拶とさせていただきます。

東 隆一 次年度SAA



次年度の会場監督をつとめさせて頂きます。例会は約1時間、1年に50回程度の開催です。メンバーの皆様は、それぞれに様々な事情、状況をかかえながら出席されるものと思います。私としては、執行部の運営方針を踏まえ、出席されたメンバーが有意義なひと時だったと感じていただけるよう、毎回の運営進行にあたる所存です。1年間宜しくお願ひします。

退会挨拶

筒井 博人 会員

(株)TVQ九州放送 専務取締役北九州本社代表)



2年間の短い間ですが、皆様大変お世話になりました。この間、福岡との掛け持ちの仕事をしていましたので、例会には十分に出られませんでした。プログラム委員の仕事も、委員長・副委員長にお任

せで、不真面目な会員だったと反省しています。最初は格調高い小倉RCに馴染めるか不安でしたが、洗心(身)会、ゴルフ会等で親しく接していただきまして、紳士的な生き方・飲み方を教えて頂きました。私は来週から北九州を離れて、報道担当になります。小倉で話題やイベントがあれば駆けつけたいと思います。この2年間で小倉のことを沢山知り、卓話や皆様を通じて勉強させて頂きました。本当にありがとうございました。小倉RCの益々のご発展を祈念しております。

小倉駅前早朝清掃 報告

日 時：6月20日（土）6時10分～

参加者：小島、角南、原田(光)、八尋、伊与田、森、

田中(信)、合馬、川邊、事務局

小倉工業高校教諭2名、生徒13名



当日は未明からの雨も上がり、清掃活動にはしのぎやすい天候でした。高校生も多数参加され、総勢100名規模での活気に満ちた清掃活動になりました。三々五々に分かれての短時間の活動でしたが、小倉駅周辺ということできなりのゴミが集まりました。参加された高校生が元気に手際よく清掃作業をされており、大変頼もしくも思え、感心させられました。

個人的には、初めての参加でメークアップのつもりでしたが、帰途につくと大変清々しい気分となりました。新入りロータリアンとしてクラブの活動を知る上でも、こういった「形」から入ることも大事なことかなと思った次第です。参加された皆さんご苦労様でした。

【報告者：川邊】

【次回例会予告】

7月10日（金）普通例会

・ロータリーソング “我らの生業”

・会員卓話 合馬 誠一 氏

合馬内科クリニック 副院長

『医療と福祉～高齢化社会と今後の方向性』